

令和6年度 (2024年度)	選挙管理委員会事務局の取り組み実績
<事務局の方針・考え方> ①適正、円滑かつ効率的な選挙事務の管理執行 ②選挙啓発事業の推進	
<事務局の構成> 選挙管理委員会事務局	<主な担当事務> (1)選挙、国民審査及び国民投票の管理執行に関すること (2)選挙の啓発に関すること

重点的な取り組み：選挙の公正かつ適正な管理執行

公職選挙法その他関係法令に関する研修を定期的を実施するなど、選挙管理委員会事務局職員一人ひとりの知識の向上に努め、選挙事務の適正・円滑な執行管理に取り組みます。

今後、突発的に執行される選挙に備え、投票所への人員配置をはじめ、投開票事務を適正に執行するための様々なシミュレーションを実施するなど、いつ選挙が執行されても迅速かつ適切に対応できる体制の構築に努めます。

実 績	① 選挙の公正かつ適正な管理執行。 ② 職員の知識向上に関する研修の実施。＜実施：76回＞
説 明	① 衆議院の急な解散により、第50回衆議院議員総選挙並びに最高裁判所裁判官国民審査が令和6年10月27日に執行されましたが、突発的に執行される選挙に備え、事前準備を進めるとともに、執行に際しては各部署や関係機関と連携を図りながら、公正かつ適正な選挙事務を行いました。 ② 公職選挙法その他関係法令について、選挙管理委員会事務局職員間で法令に関する知識を深める研修を行いました。

重点的な取り組み：政治や選挙への関心を高めてもらうための啓発事業の実施

多くの方に政治や選挙に関心を持ってもらえるよう、機関紙白ばらの発行や白バラ講座の開催など、枚方市明るい選挙推進協議会と協力し、啓発事業を実施します。

特に若年層の投票率が低い状況にあることから、将来有権者となる児童や生徒に政治や選挙への関心を高めてもらうため、市内の小・中・高校に対して選挙に関する出前授業の活用を働きかけるとともに、選挙物品の貸出しを行っている旨の周知についても積極的に行います。また、児童・生徒に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集するなど、教育委員会をはじめ関係機関と連携して啓発事業を実施することに加え、新たに有権者となった満18歳の方に対し、選挙啓発のはがきを発送し投票を促すなど、若年層を中心とした啓発事業を進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和6年度実績
出前授業の実施件数	7件	9件
選挙物品の貸出し件数	5件	4件

実 績	① 白バラ講座を実施。 <講座テーマ：「明日を読む～溢れる情報の海を乗り切るには～」 講師：辛坊 治郎（元民法解説委員長、海洋冒険家） 参加者：1,468人> ② 明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品募集及び展示会等を実施。 <応募：214点、入選：11点、カレンダー配布：300枚> ③ 選挙物品の貸出しを実施。 <貸出：中学校 2校・高等支援学校 1校・高等学校 1校> ④ 出前授業を実施。 <実施：小学校 8校・中学校 1校、参加：701人> ⑤ 選挙時啓発を実施。 ⑥ 選挙啓発はがきを発送。<発送：3,803通>
説 明	① 市民を対象に、幅広い教養と知識を身につけることにより市民の選挙意識を高めることを目的とした講座を実施しました。 ② 小・中・高校の児童、生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集するとともに、入選作品を題材にしたカレンダーを作成して学校や関係機関に配布するなど、若年層に向けた啓発活動に取り組みました。 ③ 将来有権者となる児童・生徒に選挙を身近に感じてもらう機会を提供するため、市内の小・中・高校に対して選挙物品（投票箱・記載台など）の貸出しを行いました。 ④ 選挙権がない年齢から、選挙の知識・関心を深めてもらうことを目的に、選挙管理委員会の職員等が小・中・高校に出向き、選挙の仕組みや意義、投票の仕方などについて講義を行うとともに、実際の選挙と同様に児童・生徒たちの身近なことがらをテーマにした模擬投票を実施しました。 ⑤ 選挙の執行時には、明るい選挙推進協議会と共同で、駅やショッピングセンター等においてポケットティッシュを配布するとともに、自治会等の協力のもとポスターコンクールで大阪府審査入選作品を題材とした選挙啓発ポスターの掲示や選挙啓発のぼりの掲出等を行いました。 また、この選挙啓発ポスターを各高校に依頼し、高校3年生のクラスや廊下に掲示をしてもらいました。 ⑥ 新たに有権者となった満18歳の方に対し、投票を促すための選挙啓発はがきを発送しました。